

会社概要/株主メモ

会社概要 (2023年9月30日現在)

| | |
|---------|---|
| 商号 | 中越パルプ工業株式会社 |
| 本店所在地 | 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 |
| 創業 | 1947年2月 |
| 資本金 | 18,864百万円 |
| グループ従業員 | 1,323名 |
| 主要な事業内容 | パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売、発電事業 |

●グループ概要 (2023年9月30日現在)

| | |
|------------------|--|
| 紙・パルプ製造事業 | 持分法適用関連会社 |
| 三善製紙株式会社 | 中越パッケージ株式会社 |
| その他の事業 | 中部紙工株式会社 |
| 中越緑化株式会社 | 王子製袋株式会社 |
| 中越物産株式会社 | 王子包装(上海)有限公司 |
| 中越ロジスティクス株式会社 | Japan Paper Technology (Viet Nam) Co., Ltd. |
| 中越テクノ株式会社 | Japan Paper Technology Dong Nai (VN) Co., Ltd. |
| 共友商事株式会社 | |
| 中越エコプロダクツ株式会社 | その他関係会社 |
| | O&Cアイポリーボード株式会社 徳島工場 |
| | OCMファイバートレーディング株式会社 |
| | O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社 |

●役員 (2023年9月30日現在)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役社長 植松 久 取締役 松本 光史

代表取締役副社長 福本 亮治

※監査等委員である取締役を除く各取締役は執行役員を兼務。

監査等委員である取締役

取締役 常任監査等委員(常勤) 楠原 勝市

社外取締役 監査等委員 山口 敏彦

社外取締役 監査等委員 櫻井 佳世子

表紙 表紙写真「勝興寺 唐門と堀 高岡市」

富山県高岡市にある浄土真宗本願寺派の古刹。2022年12月に本堂などが国宝に指定されました。

株主メモ

●株式のご案内

| | |
|--------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。 |

| | |
|------|--|
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
|------|--|

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

各種お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)



よくあるご質問、各種お手続きはこちらをご覧ください。
<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

| | |
|---------|---------|
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |

●お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル85g/m²」を使用しております。



中越パルプ工業株式会社

証券コード:3877



株主の皆様へ
紙だからこそ
できること

Contents

| | |
|-------------------------------------|-----|
| トップメッセージ/経営理念 | 1 |
| 業績・セグメント概要 | 3 |
| 財務・非財務データ | 4 |
| 「中期経営計画2025」 | 5 |
| 水と植物から製造した高機能素材 CNF[nanoforest®] | 7 |
| ニュースリリース・トピックス | 9 |
| 株式の状況 | 10 |
| 会社概要 / 株主メモ | 裏表紙 |





循環型社会の構築と持続可能な未来を実現するため
「中期経営計画2025」を着実に実行してまいります。

 **中越パルプ工業株式会社**
CHUETSU PULP & PAPER CO., LTD.

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の第108期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業概要についてご報告いたします。

代表取締役社長 **植松 久**

事業結果の概要

新型コロナウイルス感染症に関する規制や制限の撤廃、緩和が進んだことにより、海外旅行を始めとした人の往来が正常化し、世界各国の経済活動に持ち直しの動きが見られました。一方で、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の悪

化に伴う原燃料価格の高止まり、円安の進行、世界的な物価上昇を背景とした金融引き締め影響などによる中国や欧米等海外景気の低迷など、景気の先行き不透明な状況は続いていく見通しです。

紙・パルプ業界におきましては、国内市場は、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動は正常化したものの、グラフィック用

紙はデジタル化の進行により、また包装用紙は省包装・簡易包装化により、それぞれ需要が減少しました。海外市場においても、景気悪化などの影響により、東南アジアを中心に急激な需要の減少に見舞われました。紙の需要減少は一時的なものではなく、今後も引き続くものとの覚悟を持ち、より一層スピードを上げて既存事業の構造改革に取り組んでまいります。

このような状況下、当社グループは、製品価格改定に加え、紙・パルプ製造事業の生産体制再構築、培ってきたノウハウを活かした効率操業・安定操業に努め、製造コストの低減に取り組ましました。

第2四半期連結累計期間については、売上高は52,493百万円と前年同期に比べ3,204百万円(+6.5%)の増収となりました。営業利益は3,304百万円と前年同期に比べ1,802百万円(+119.9%)、経常利益は3,794百万円と前年同期に比べ1,252百万円(+49.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,569百万円と前年同期に比べ790百万円(+44.4%)と前年同期を上回る利益を確保することができました。

通期では、紙需要の減少、原燃料価格の高止まりや円安など厳しい状況を想定するものの、第2四半期連結累計期間の業績と下期の事業環境の見通しを踏まえ、売上高106,000百万円、営業利益4,800百万円、経常利益5,500百万円、当期純利益3,600百万円を見込みます。

配当金について

株主の皆様への利益還元である配当金につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大影響による業績の悪化から回復に転じており、昨年度は期末に10円増配いたしました。今

中間期につきましても、当初予想の25円から5円増配し、1株当たり30円の配当を実施したいと存じます。今後も収益確保に努め、安定した配当の実施に努めてまいります。

上場維持基準への適合に向けて

東京証券取引所の市場区分の見直しに伴い、プライム市場への上場を選択いたしました。より高いガバナンス水準を希求し続けることにより企業価値を高めてまいります。

2023年3月31日基準日時点におけるプライム市場上場維持基準への適合状況につきましては、「流通株式数」、「流通株式比率」、「1日平均売買代金」については基準を充たしておりますが、「流通株式時価総額」については基準を充たしていません。引き続き「中期経営計画2025」の着実な実行により最終年度となる2025年度までに業績目標を達成することによって「流通株式時価総額」の基準を充たすよう努めてまいります。また、株価水準につきましては、当社の企業価値が十分に反映されたものではないと考えており、今後も積極的にIR活動にも取り組んでまいります。

株主の皆様へ

当社グループは、「中期経営計画2025」をマイルストーンとする「ビジョン2030」の達成を通して、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する、株主の皆様をはじめとするあらゆるステークホルダーに愛され信頼される企業を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、持続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

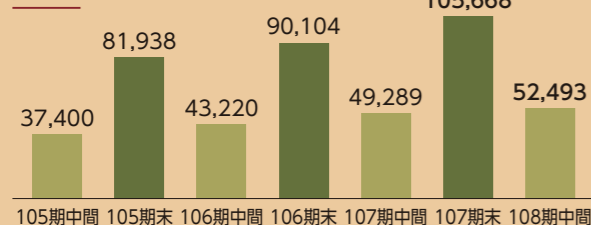
三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくります。

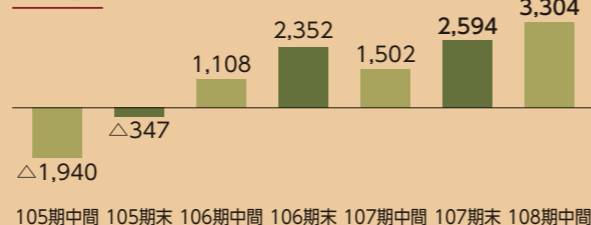
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

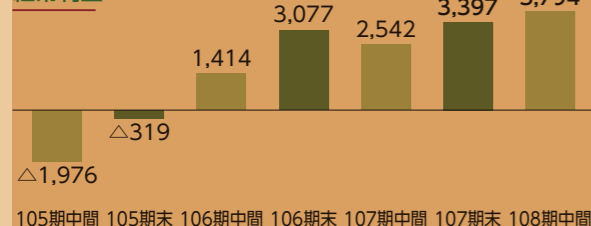
売上高



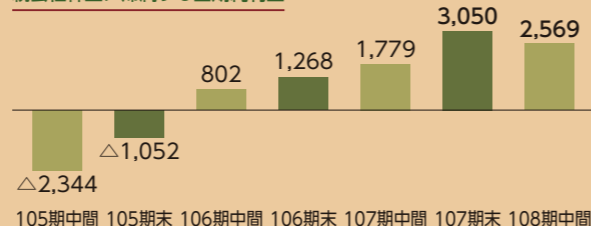
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



セグメントの概要

紙・パルプ製造事業

連結売上高 **46,833**百万円 (前年同期比 8.0%増)
 連結営業利益 **2,891**百万円 (前年同期比 201.9%増)

発電事業

連結売上高 **3,735**百万円 (前年同期比 1.0%減)
 連結営業利益 **309**百万円 (前年同期比 38.6%減)

その他事業

連結売上高 **8,370**百万円 (前年同期比 0.1%減)
 連結営業利益 **110**百万円 (前年同期比38百万円の連結営業損失)

決算のポイント

- 【プラス要因】
- ・製品の販売価格改定
 - ・原料調達コスト、エネルギーコストの低減
 - ・パルプの生産体制増強に伴う販売数量の増加
 - ・その他事業における、設備設計施工関連事業等の受注増、人件費等のコスト低減
- 【マイナス要因】
- ・新聞用紙・雑誌・書籍などのグラフィック用紙の需要減
 - ・省包装、簡易包装化による包装用紙の販売数量の減少
 - ・海外市況の悪化や海外メーカーの販売攻勢による輸出版売数量の減少
 - ・燃料価格の高騰による発電事業の減益

配当 中間期：**30円** 当初予想から5円増配、期末についても5円増配し、通期で60円の配当を予定しております。

主要な経営指標の推移

| | 単位 | 第105期 | | 第106期 | | 第107期 | | 第108期 |
|-------------------------------------|-------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|
| | | (中間期) | (通期) | (中間期) | (通期) | (中間期) | (通期) | (中間期) |
| 売上高 | (百万円) | 37,400 | 81,938 | 43,220 | 90,104 | 49,289 | 105,668 | 52,493 |
| 経常利益又は経常損失(Δ) | (百万円) | Δ1,976 | Δ319 | 1,414 | 3,077 | 2,542 | 3,397 | 3,794 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(Δ) | (百万円) | Δ2,344 | Δ1,052 | 802 | 1,268 | 1,779 | 3,050 | 2,569 |
| 純資産 | (百万円) | 45,896 | 47,455 | 48,389 | 48,620 | 50,542 | 51,633 | 54,372 |
| 総資産 | (百万円) | 116,094 | 123,490 | 120,598 | 122,029 | 122,056 | 122,751 | 128,022 |
| 1株当たり純資産 | (円) | 3,550.96 | | 3,639.20 | | 3,783.76 | 3,985.64 | 4,197.94 |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(Δ) | (円) | Δ175.57 | Δ78.85 | 60.10 | 95.02 | 133.31 | 229.06 | 198.39 |
| 自己資本比率 | (%) | 39.5 | 38.4 | 40.1 | 39.8 | 41.4 | 42.0 | 42.5 |
| ROE | (%) | - | | 2.6 | | 6.1 | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | 282 | 5,965 | 4,815 | 8,257 | 1,384 | 2,662 | 5,913 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | Δ1,584 | Δ3,898 | Δ1,576 | Δ3,150 | Δ2,641 | Δ5,124 | Δ4,231 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | 1,889 | 6,284 | Δ3,111 | Δ5,894 | Δ2,259 | Δ4,795 | Δ1,507 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | (百万円) | 7,781 | 15,575 | 15,703 | 14,861 | 11,845 | 8,110 | 8,470 |

サステナビリティ情報

GHG(温室効果ガス)の排出について

| | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|--------------------|--------------------------|--------|--------|--------|
| GHG排出量*1 | (千t-CO ₂) | 559 | 542 | 521 |
| GHG排出原単位*2 | (t-CO ₂ /百万円) | 7.3 | 6.4 | 5.2 |
| Scope1排出量 | (千t-CO ₂) | 503 | 484 | 465 |
| Scope2排出量(マーケット方式) | (千t-CO ₂) | 56 | 58 | 55 |

当社は2022年6月にTCFD提言に賛同しております。

*1 GHGプロトコルに準じた算定を行っております。中越パルプ工業㈱単体の排出量です。連結子会社を含めた排出量は、2024年度の開示を目指しております。また、Scope3の算定については、2025年度の開示に向けて検討しております。

*2 売上あたりのCO₂排出量を示しております。

人材の育成に関する方針、及び社内環境整備に関する方針に係る指標*3

| 指標 | 目標 | 実績(2022年度) |
|-----------------|----------------|------------|
| 管理職に占める女性労働者の割合 | 2033年3月までに25% | 4.0% |
| 管理職に占める中途採用者の割合 | | 12.5% |
| 女性育児休業取得率 | 2026年3月までに100% | 100.0% |
| 男性育児休業取得率 | 100% | 13.3% |
| 育児休業取得率 | | 18.8% |
| 労働者の男女の賃金差異 | - | 71.6%*4 |

*3 連結グループに属するすべての会社での記載が困難なため、当社における指標と目標及び実績について記載しております。

*4 交替手当や深夜勤務手当のある3交替現場に女性を配属していないこと、女性管理職が少ないことが、対男性比で賃金が低い要因です。

「中期経営計画2025」

当社グループは2030年に目指す姿を掲げた「ビジョン2030」と、その具体化のために収益目標と環境目標を定めた「中期経営計画2025」を策定し、取組みを進めています。

ビジョン2030

既存事業の発展・環境ビジネスの発展・イノベーションにより、森林資源の有効活用を通じた循環型社会の構築と持続可能な未来を実現する

中期経営計画2025

▶ 具体的な進捗

① 紙パルプ事業の生産体制再構築

- 高岡工場6号マシンを2022年9月に停機、印刷情報用紙を川内・高岡両工場に移抄し生産を集約。
- 家庭紙マシン設置工事を進めており、2023年12月の稼働を予定。
- 外販パルプの生産体制を強化し、販売量が大幅に増加。

② グループ関係会社事業の選択と集中による収益力強化

- 2021年11月に三善製紙株式会社が株式会社巴川製紙所の一部事業を譲受。
- 2022年7月に株式会社文運堂の文具事業に関する営業権等をショウワノートホールディングス株式会社へ譲渡。

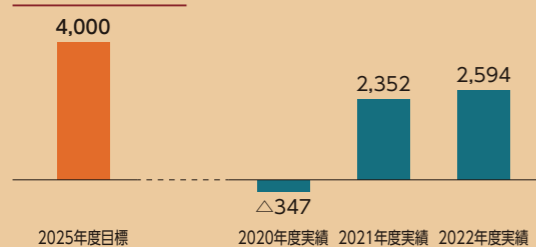
③ 森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

- CNFの新規分野への取り組み（農業分野への利用、化粧品原料向け「nanoforest®」【MicC】の販売開始）
- 既存ボイラーの脱石炭の取り組みは、2022年度は2020年度比で石炭使用量38%削減。
- 植林事業は2022年度より着手、順次拡大。

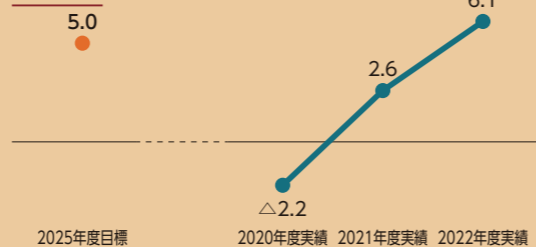
▶ 数値目標と進捗

| | | | | | |
|------|------|-----|------|----------------------------|-----------------------------|
| 営業利益 | 40億円 | ROE | 5%以上 | 化石燃料由来のCO ₂ 排出量 | 2030年度までに50%削減 (2013年度比) |
|------|------|-----|------|----------------------------|-----------------------------|

営業利益 (百万円)



ROE (%)



中期経営計画2025 スケジュール

① 既存事業の構造転換

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|------------------|--------|---|---|-----------------|--------|
| (1)- I 6号マシン停機 | | 生産集約完了 | ●2022年9月末 高岡工場6号マシン停機 | | |
| (1)- II 家庭紙マシン新設 | | | 設置 | 稼働 (2023年12月予定) | |
| (1)- III 事業領域拡大 | | パルプ増販 (生産体制強化完了) | プラスチック削減需要など紙の新規利用の拡大 | | |
| | | ●2022年度: 外販パルプ販売量75%増(2020年度比)、紙パルプ拡大領域7%増(2020年度比) | | | |
| (2) 関係会社収益力強化 | | 営業権譲受・文具事業整理完了 | ●2021年11月 三善製紙が巴川製紙所の一部事業を譲受 | | |
| | | | ●2022年 7月 文運堂の文具事業に関する営業権等をショウワノートHDへ譲渡 | | |

② 森林資源を活用した環境投資・環境ビジネスの推進

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|-----------------|--------|--|--------|-------------------------|--------|
| I CNF実用化・開発加速 | | 高機能CNFプラント 2022年春より設備検証テスト開始 順次サンプル販売開始 | | | |
| | | nanoforest®の新たな分野への利用拡大 | | | |
| | | ●農業資材の試験販売開始、化粧品原料への新規採用など | | | |
| II 中越エコプロダクト | | 製造設備試運転完了 | | 品質確認完了後、営業運転 | |
| III バイオマス発電(検討) | | | 検討 | | 設置 |
| IV 既存ボイラー脱石炭 | | | | 削減取り組み中 | |
| | | ●2022年度実績:石炭使用量38%削減(9,800t-CO ₂ 削減)(2020年度比) | | | |
| V 植林事業 | | | | 2030年度までに1,000haを目標に実施中 | |
| | | ●2022年度より着手、順次拡大予定 | | | |

家庭紙マシン建設中!

1978年に操業を開始した高岡工場6号マシンが2022年9月29日をもって44年の操業を終えました。同年11月より撤去工事を開始し、その跡地に家庭紙マシンの建設を行っています。現在、本年12月の稼働に向けて工事也大詰めを迎えています。



高岡工場6号マシン撤去完了

マシン据付中

マシン主要設備の据付が完了

水と植物から製造した高機能素材 CNF[nanoforest®]

「中期経営計画2025」の柱の一つである当社のCNF[nanoforest®]を改めてご紹介いたします。

■ CNFとは?

セルロースナノファイバー（以下CNF）とは、セルロースを含む植物素材をほぐして得られる微細な繊維のことです。紙の原料であるパルプは木材からセルロースを抽出したのですが、CNFはこのパルプを更に1/1000程度の3~100nmにまで微細化することによって得られます。

軽量・高強度かつ様々な物質と複合できる等、優れた性質に加えて、植物由来のサステナブルな素材としても注目されています。

※1nm(ナノメートル)=1mmの1/100万



■ nanoforest®とは?

当社のCNF[nanoforest®]は、自社パルプ(針葉樹・竹)を原料として、化学薬品を使うことなく水の力を利用して製造しています。

また、当社は日本で唯一、国産竹100%の竹パルプを製造しています。この竹パルプを原料とする竹CNFは、木材由来CNFとは異なる性質を持つことや、竹林資源の活用への貢献といった観点から、化粧品分野・農業分野で注目されています。



■ nanoforest®の製造方法

水中対向衝突法(Aqueous Counter Collision, 以下ACC法)は、パルプを分散させた水を高圧・高速で衝突させることによって、繊維をほぐしていく方法です。

ACC法によるCNFは、他の製造方法では得られない以下のような特長を持ちます。

特長① 繊維の細かさ(解繊度)を調整可能

ACC法では、パルプを分散させた水を衝突させる圧力や回数によって繊維の細かさを調整することができます。用途に応じて4グレードから選択できます。

特長② 水と結びつきやすい面(親水面)と、油に結びつきやすい面(疎水面)の両方を持つ(両親媒性)

一般にパルプやCNFは親水性を示しますが、nanoforest®は疎水面も併せ持つため、乳化作用や表面改質(物質表面の性質を変化させる)などの効果を得られます。この両親媒性を活かした独自の用途開発が期待されており、農業用資材としての活用(nanoforest®-S【アグリ】)はその一例となります。(トピックスに掲載)



■ 実用化・用途開発事例

nanoforest®は解繊度や形態・用途によって分かれており、様々な分野で普及拡大・開発に取り組んでいます。


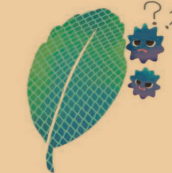
| | | |
|--|---|--|
| <p>国産竹100%使用の天然素材として化粧品原料に利用</p>  <p>株式会社nijito https://www.harushop.jp</p> | <p>樹脂に分散しやすい粉末状CNF配合のスニーカーソール</p>  <p>株式会社スピングルカンパニー https://www.spingle.jp/rubear/</p> | <p>農業・畜産分野での環境にも人にも優しい資材としての利用</p>  <p>CNFを葉面散布する様子 写真提供：須賀園芸(鹿児島県薩摩川内市) nanoforest®-S【アグリ】 nanoforest®-S【ファーム】</p> |
|--|---|--|

トピックス

農業資材nanoforest®-S【アグリ】の普及への取り組みが『みどりの食料システム戦略に基づく基盤確立事業実施計画』へ認定されました。

nanoforest®-S【アグリ】は植物に散布することで葉面上を微細繊維で覆って菌の侵入を物理的にブロックするはたらきを持ち、化学農薬の使用削減に寄与します。2023年9月には、環境負荷低減に対する本資材の取り組みが評価され、農林水産省によって「みどりの食料システム戦略に基づく基盤確立事業実施計画」へ認定されました。「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減することが目標の一つとして掲げられており、本資材の普及拡大は目標達成の一助となるものです。今回の認定を通じて、本資材の実証実験を進めるとともに、殺菌剤市場(国内出荷額730億円)での販路を開拓していきます。

● nanoforest®-S【アグリ】の2つの機能

| | |
|--|---|
| <p>《マスク効果》</p>  <p>CNFが葉面を網目状に覆い病原菌の侵入を物理的に予防</p> | <p>《カモフラージュ効果》</p>  <p>病原菌に葉面であることを認識させず、葉内部への侵入を防止(CNFの両親媒性により葉面を親水化)</p> |
|--|---|

2023年4月以降の主なニュースリリース・トピックスをご紹介します。

- 5月...
 - 【CNF】第11回化粧品産業技術展「CITE JAPAN2023」出展
 - 【CNF】第1回九州農業WEEK 出展
 - 【CNF】化粧品原料「nanoforest®」【MicC】の販売を開始
- 6月...
 - 株式会社山櫻のYouTubeチャンネルで
当社の「竹紙」を特集
- 7月...
 - 当社紙「ソリスト(N)」を使用した書籍
「極楽征夷大将軍」が第169回直木賞受賞
- 9月...
 - 【CNF】農業資材nanoforest®-S【アグリ】の普及への取り組みが
「みどりの食料システム戦略に基づく基盤確立事業実施計画」へ認定
- 10月...
 - 【CNF】サステナブルマテリアル展へ出展
 - 当社社有林の「中パの森 高岡」が環境省より「自然共生サイト」に認定
- 12月...
 - SDGs Week EXPO 2023
第25回エコプロに今年も出展します。
日時：2023年12月6日(水)～12月8日(金)
場所：東京ビッグサイト(東4・5・6ホール)
中越パルプ工業ブース：東5-106(生物多様性ゾーン内)



直木賞 受賞作品
 タイトル:「極楽征夷大将軍」
 著者: 垣根涼介
 出版社: 文藝春秋
 使用紙: ソリスト(N) 55g/m²



「中パの森 高岡」が環境省の「自然共生サイト」に認定

「自然共生サイト」とは、「30by30目標※」の達成に向け、民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域を環境省が認定するものです。「中パの森 高岡」は富山県射水市にある当社社有林で、一般の方に開放しています。今回、生物多様性の大切さを学ぶための自然体験学習会の開催の取り組みや、地域の方々が気軽に自然の恵みを感じることができる場所になっていることが評価され、「自然共生サイト」に認定されました。

※「30by30目標」とは:2030年までに陸と海の30%以上を保全する国際的な目標。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

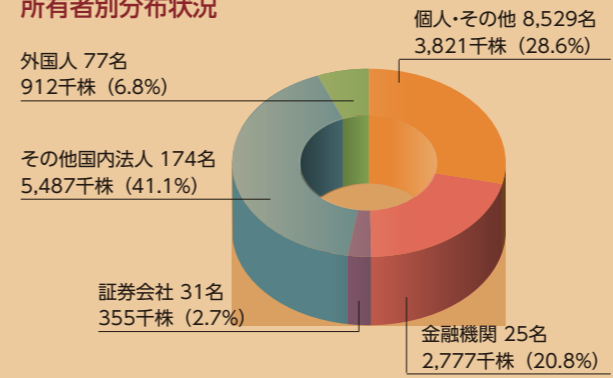
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 45,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 13,354,688株 |
| 株主数 | 8,836名 |

大株主の構成

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|-------------------------|-------------|-------------|
| 王子ホールディングス株式会社 | 2,753 | 21.26 |
| 日本紙パルプ商事株式会社 | 710 | 5.48 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 574 | 4.43 |
| 株式会社北陸銀行 | 573 | 4.42 |
| 新生紙パルプ商事株式会社 | 564 | 4.36 |
| KPPグループホールディングス株式会社 | 534 | 4.12 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口4) | 410 | 3.17 |
| 農林中央金庫 | 401 | 3.09 |
| INTERACTIVE BROKERS LLC | 303 | 2.34 |
| 中越パルプ工業従業員持株会 | 238 | 1.83 |

(注) 1. 当社は自己株式404,651株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況



第107期定時株主総会における
議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

| | |
|------------|----------|
| 議決権を有する株主数 | 7,345名 |
| 議決権の数 | 129,113個 |

2. 議決権行使状況

| | 株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使) | 株主総会 当日出席による 議決権行使 | 議決権行使 合計 |
|---------|------------------------------|--------------------------|-------------|
| 株主数 | 2,757名 | 18名 | 2,775名 |
| 議決権行使個数 | 74,336個 | 28,593個 | 102,929個 |
| 行使率 | 57.5% | 22.1% | 79.7% |

3. 議決権行使結果

| | 賛成数 | 反対数 | 棄権数 | 賛成比率 |
|-------------------|----------|------|-----|--------|
| 第1号議案 剰余金の処分の件 | 101,499個 | 376個 | 0個 | 98.61% |

第2号議案
取締役(監査等委員である取締役を除く。)3名選任の件

| 氏名 | 賛成数 | 反対数 | 棄権数 | 賛成比率 |
|-------|----------|------|-----|--------|
| 植松 久 | 101,300個 | 640個 | 0個 | 98.36% |
| 福本 亮治 | 101,540個 | 400個 | 0個 | 98.59% |
| 松本 光史 | 101,421個 | 519個 | 0個 | 98.47% |

(注) 賛成数は、「事前行使における賛成数」と「当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数」を合計したものです。